

もっと、あなたに響くこと。



News Release

2019年1月7日
株式会社ジュピターテレコム

2019年 年頭所感

(本資料は、ジュピターテレコム代表取締役社長：井村 公彦の社員向け年頭挨拶の抜粋です。)

あけましておめでとうございます。2019年の年頭所感を申し上げます。

2018年を振り返りますと、記憶に新しいところでは、12月1日 начиная с нового 4K8K衛星放送開始が挙げられます。当社グループも、放送開始に合わせてサービス提供を目標に、これまで4K対応のセットトップボックスの開発をはじめ数々の準備を進めてきました。無事に12月1日より、お客様に4Kサービスの提供ができたことをまずは嬉しく思います。

また一昨年に続き自然災害が多く発生した年でもありました。当社では地域メディアとしてのコミュニティチャンネルの強化を図っていますが、昨年リリースした地域情報アプリ「ど・ろーかる」も最大限活用し、被災されたエリアでの地域情報の発信に努めました。

メディア事業においては、動画広告会社のプルーカスがグループに加わったほか、「J:Brand Studio」という新しいコンセプトで広告ビジネス拡大に向けた取り組みを始動するなど、メディア事業の更なる成長に向けた施策を数多く実施しました。また、アスミック・エースが配給を手掛けた映画「カメラを止めるな」は異例の大ヒットとなるなど、明るいニュースもありました。

■2019年はイノベーション元年、新しいことに果敢にチャレンジを

2019年も当社を取り巻く事業環境については、昨年以上に厳しい状況であることは論を俟ちません。新たなVODサービスをはじめとする新しいビジネスモデルが続々と出てくるなか、J:COMも従来からのビジネスを見直す時期に来ていると認識しています。競争環境が激化している中、お客様のニーズに合った独自の商品開発や新サービスの投入など、新しいことに果敢にチャレンジしていくことが重要です。

昨年設立したビジネスイノベーション部門を核として、お客様の生活をより豊かにできるよう、新規事業創出に向けて、全社を挙げて取り組んでいきます。また昨年7月に導入した「J:COM Innovation Program（略称JIP）」については、多数の案件から選定した2事業についてフィージビリティスタディを実施し、事業化を検討しています。2019年はイノベーション元年として、inch by inch、日々努力を重ね、J:COMのワンチームスピリットで積極的にチャレンジしていきましょう。

■引き続き4K放送を推進し、お客様の生活をより豊かで楽しく

2019年はラグビーワールドカップ日本大会、来年は東京オリンピックなどの大きなイベントがあり、本年10月には新天皇の即位パレードなどが予定されています。このようなビッグイベントをお客さまに高精細な4Kでご視聴いただけるよう、4K放送サービスを引き続き積極的に推進していきます。お客様へ4Kの魅力を訴求していくには長いタイムスパンで臨むことが重要ですが、J:COMの4K放送はSTBの設置だけで視聴いただけるサービスですので、その長所を最大限PRし、一人でも多く

のお客さまの生活を豊かで楽しいものにしていきたいと考えています。その上では、4Kコンテンツの充実も外すことはできません。J:COMグループにはJ SPORTSをはじめ、ジュピターショップチャンネルなど、多くの番組制作会社のほか、「J:COMテレビ」「J:COMチャンネル」の2つのコミュニティチャンネルも有しています。番組制作においても魅力あるコンテンツの提供を目指し、4K化を推進していくことが重要です。お客様に4K放送を楽しんでいただくため、さまざまな方向性を検討し、全社一丸となって知恵を出し合い、スピード感をもって進んでいきましょう。

■J:COMの地域力、総合力も引き続き強化し、持続的成長を目指す

J:COMの持続的成長のためには、地域力の強化、既存ビジネスを中心とした総合力の強化も必須です。地域のメディアとしてコミュニティチャンネルでの地域情報の強化をはじめ、地域のニーズをくみ上げ、引き続き地域の利益へ貢献していきたいと考えています。また、既存ビジネスの競争力の強化も図ります。お客様のニーズに即した各種サービスの充実を図り、事業の安定を図るとともに、メディア事業においては、新たな収益の柱とするべく、昨年設立した「J:Brand Studio」を活用した新たな広告モデルの推進や視聴データシステムの広告への活用など広告事業を強化し、J:COMの持続的成長を図っていきます。

■健康でいきいきと活躍できる会社を目指して

当社はこれまで、皆さんが働きやすく、十分に能力を発揮できる職場環境の仕組みづくりに取り組んできましたが、これらの取り組みを更に進め、一人ひとりが心も身体も健康な状態（Well-being）でいきいきと活躍できる職場環境の実現にむけて、昨年「健康経営宣言」を行いました。これは、会社の覚悟でもあります。皆さんとその家族の健康の保持、増進のサポートを会社として行っていくこと、皆さんにはコンプライアンスを常に意識したうえで、最高のパフォーマンスを発揮していただき、地域社会のため、お客様のためにできることをさらに追求していきましょう。

2019年1月
株式会社ジュピターテレコム
代表取締役社長 井村 公彦

ジュピターテレコムについて <www.jcom.co.jp>

株式会社ジュピターテレコム（本社：東京都千代田区）は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの25社73局を通じて約545万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームバス世帯（敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯）は約2,153万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。※世帯数は2018年9月末現在の数字です。